



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和5年9月20日
第8号

黄金の波がよせてくる～熊谷東中校歌から～

校長 清水利浩

一、季節の鳥が かすめとび
黄金の波が よせてくる
東中学 庭面に
我等の靴の 跡がある
熊谷東中の校歌の 1 番で
す。ここに「黄金の波がよせて
くる」とあります。さて、「黄金
の波」とは何でしょうか。いろ
いろ調べてみたのですが、な
かなか答えに届きませんでした。
そこで私の推測ですが、書いてみます。



黄金の波、まず、イメージできるのが**秋の稲穂**のことでしょう。青く澄んだ秋空のもと、熊谷東中の学区内の稲穂も見事な黄金色に色づいてきました。今、稲刈りが始まっています。

秋の稲穂だけではないのでは。熊谷市をはじめとする埼玉県北部は**小麦の生産**が盛んな二毛作地帯である。5月下旬から6月にかけての小麦の収穫時期にも、私たちは「黄金の波」を見ることができのです。

さて、校歌を作詞した**石坂養平さん**についてお話しします。石坂さんは、熊谷市(奈良中学区)で生まれ、幡羅高等小学校(妻沼西中学区にある観清寺)、旧制熊谷中学校(熊谷高校)、旧制二高、東京帝国大学(東京大学)出身の文芸評論家・哲学者です。また、埼玉県議会議員、衆議院議員となり、政治家としても活躍しました。熊谷東中の校歌をはじめ、熊谷高校、奈良小、奈良中、妻沼東中、妻沼西中、別府中、大幡小、大原中など熊谷市内の学校の校歌の作詞もされています。

熊谷東中学区の美しい自然を詠う校歌、この地で生活し、学び、成長していくことを実感する。まさに「我等の靴の跡」を一步一步確実に残しているのです。

素晴らしい歩みとするために頑張っていきましょう。

<参考資料>○水田の写真は、熊谷東中学校区の梅岩院(熊谷市池上)付近の風景です。

○熊谷市立江南文化財センター ホームページ「熊谷デジタルミュージアム」

○「熊谷人物事典」国書刊行会 昭和57年



がっちゅう
R5 東中の歩み



**BELIEVE YOUR FRIENDS
THAT KEEP RUNNING!**

～ 小細工などはいらない、勝利に向かってまっすぐに～



第63回体育祭 大成功！（9月9日及び14日）

